

岡崎市水道ビジョンの主な取組状況（H27～29年度）

1 岡崎市水道ビジョンとは

岡崎市水道ビジョン（計画期間：平成21年度～32年度。以下、水道ビジョン。）は、本市水道事業の現状と課題を整理した上で、本市水道事業がめざす目標を定め、その実現に向けて取り組むべき施策をまとめた計画で、平成21年3月に策定しました。

2 水道ビジョンの目標と各施策の取組状況

水道ビジョンでは、「安心な水道水の供給」、「計画的な水道施設更新と水源の確保」、「お客さまサービスの充実」、「経営基盤の強化」、「環境・エネルギー対策の強化」という5つの目標を掲げています。

この目標の実現に向け、上下水道局では各種施策に取り組んでいますが、平成27年度から29年度までの主な取組みについて、水道ビジョンに掲げた目標ごとに整理してご紹介します。

（注）目標値を定めている取組みについてはその指標名と、平成29年度の目標値及び実績値を掲載しています。

目標1 安心な水道水の供給

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要 指標の目標値	主な取組内容 指標の実績値
原水の水質管理の強化	水質管理の強化	-	・河川水位の監視（乙川） ・矢作川関係会議への出席（矢作川、巴川）	・水位など収集データの常時監視 ・関係会議にて現状把握及び課題の確認
安心できる浄水の継続	浄水プロセスの改善	-	・男川浄水場更新工事の施工管理 ・男川浄水場の完成	・定例会議による設計、工事等の管理及び進捗確認 ・トリハロメタン除去に効果のある粉末活性炭除去施設の導入
	取水から蛇口までの水質管理	総トリハロメタン濃度水質基準比（%）	・水質検査結果を反映した水質検査計画の策定 ・水質検査基準等の改正に伴う処理方法の検討	・水質検査結果を反映した検査計画の策定 ・基準の改正に合わせた処理方法を検討し、現状の処理方法で対応できることを確認
			70%以下	26%
	浄水技術の継承・向上	-	人材育成、技術力向上を目的とした研修会等の実施	テクニカルエキスパート（上下水道局が認定したベテラン技術職員）によるOJTの実施

目標2 計画的な水道施設更新と水源の確保

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
			指標の目標値	指標の実績値
安定供給を確実にする投資の計画的実施	男川浄水場の更新	-	・男川浄水場更新工事の施工管理 ・男川浄水場完成	・各施設の築造工事に着手 ・定例会議により設計、工事等の管理及び進捗確認 ・男川浄水場完成
	老朽施設の計画的更新	管路の更新率 (%)	・鋳鉄管布設替工事 ・塩化ビニル管布設替工事	・鋳鉄管布設替工事の完了 ・塩化ビニル管布設替工事の実施 ・更新延長10.2km
			1.4%	0.5%
	優先度を明確にした計画的耐震化	全施設耐震率 (%)	・六供配水場、日名ポンプ場、男川浄水場、大平取水場、桜形ポンプ場の更新 ・簡易耐震診断	・六供配水場、日名ポンプ場、男川浄水場、桜形ポンプ場の耐震化完了 ・大平取水場の解体撤去 ・簡易耐震診断実施(52施設)
			98%	98%
優先度を明確にした計画的耐震化	管路の耐震化率 (%)	耐震管布設工事	耐震管への布設替工事の実施(災害対策本部、広域避難所や透析病院への給水ルート。延長2,159m)	
		----- 38%	----- 38.0%	
安定供給を確実にする投資の計画的実施	上水道と簡易水道の連絡管整備	-	(H21年度に完了)	(H21年度に簡易水道事業の施設統合計画案を作成。簡易水道は、平成32年度に上水道事業への統合を図るよう事務を進める予定)
	長期的視点からの管網の再構築	-	本宿送水管2条化整備事業送水管布設工事	計画どおり管布設工事を完成
維持管理しやすい合理的な施設整備の推進	施設の統廃合の推進	-	六供浄水場配水場化工事	六供配水場化工事が完了(H28年度完了)
	配水管網のブロック化の検討	-	(H21年度に完了)	(H21年度に配水ブロック案を検討し完了)
	省エネルギーに寄与する水道施設への転換	-	工事ごとに検討	東部配水区再編管路実施設計業務を実施

目標2 計画的な水道施設更新と水源の確保

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
危機管理対策の充実	危機管理マニュアルの集約・再整備・充実	-	危機管理マニュアルの随時見直し	危機管理マニュアルの改訂
	事業継続計画（BCP）の検討	-	（H27～29年度は計画なし）	
	より実践的な訓練の実施	-	実践的な防災訓練の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・発災時の復旧活動を想定した上下水道局独自の防災訓練の実施 ・岡崎市総合防災訓練における応急給水訓練の実施
	市民との協働による災害対策	-	非常用水確保の啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・岡崎市総合防災訓練において模擬給水を実施 ・秋まつりに出展して給水車展示による啓発を実施
水源の保全	水源保全に向けた他部門との連携強化	-	水源地下草刈の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地下草刈の実施 ・環境部と連携し水源地の大切さ等について学習するバスツアーを実施

目標3 お客さまサービスの充実

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
お客さまの利便性向上	お客さまの利便性の向上（クレジットカード払いの導入）	-	クレジットカード取扱手数料削減等についての調査継続	市民アンケートの結果、クレジットカード取扱手数料分の水道料金を値上げしてまでクレジットカード払いを希望しないという回答が大多数であったため、導入を見送る（H27年度完了）
	お客さまの利便性の向上（窓口サービスの時間延長）	-	- （H26年度に完了）	（月3回の料金滞納者に対する給水停止日に限り、サービス時間の延長を実施することを決定）
	お客さまの利便性の向上（1ヶ月徴収の実施）	-	- （H23年度に完了）	（H23年度に1ヶ月徴収は導入しない方針を決定）

目標3 お客さまサービスの充実

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
			指標の目標値	指標の実績値
給水サービスの充実	直結給水の拡大	-	- (H24年度に完了)	(直結増圧給水方式を平成24年8月1日から施行)
	給水装置工事や貯水槽水道管理の適正化	-	・事業者に対する研修会の実施 ・新規事業者を中心とした個別指導の実施	・指定事業者等を対象とした講習会の実施 ・新規指定事業者に個別の現場指導を実施
	給水装置工事や貯水槽水道管理の適正化	-	貯水槽水道の適正管理に係る調査及び再指導	・貯水槽のメンテナンス状況等の実態調査を実施 ・過去に調査を行った箇所では不備が見受けられる場合は、書類で再指導を実施
広報・広聴の充実	広報施策の充実 (広報紙の発行、HPの充実)	水道事業に係わる情報の提供度(部/件)	・市政だよりへの記事掲載 ・ホームページの見直し	・市政だよりへの記事掲載(水道週間、親子バスツアー、新男川浄水場完成) ・予算概要や決算状況等をホームページで公開
			2部/件	3部/件
	広報施策の充実 (浄水場見学などの継続・充実)	-	社会科見学、水源バスツアーの継続	社会見学、水道週間(6/1～7)を利用した浄水場の施設開放、水道水源バスツアーの実施。
	広報施策の充実 (六供資料館の検討)	-	活用方策の検討	施設の耐震性、見学者及び水道水の安全性等の点から、資料館としての活用は見合わせる事とした(H27年度完了)
	水道モニター制度などによる双方コミュニケーション(モニター制度)	-	岡崎eモニター制度による水道事業に対する意見の聴取	災害時の飲料水の備蓄・応急給水についてのアンケート調査を実施
	水道モニター制度などによる双方コミュニケーション(アンケート)	-	(H27～29年度は計画なし)	
	水道事業経営委員会の設置(委員会指摘の事業への反映)	-	経営委員会の運営継続	「簡易水道統合事業について」等のテーマについて、経営委員から意見及び助言をいただいた

目標3 お客さまサービスの充実

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
広報・広聴の充実	水道事業経営委員会の設置（水道ビジョン達成状況の報告・公表）	-	・進捗管理の実施 ・経営委員会への報告	・水道ビジョンの進捗状況について内部評価を実施 ・経営委員会に進捗状況を報告
	水道文化の継承（子供への水道飲用）	-	子供への水道飲用に関する情報提供の実施	社会見学、水道週間における浄水場施設開放と併せた子供を対象とした環境教育プログラム、水道水源バスツアーを継続し、水道に関する情報提供を実施
	水道文化の継承（額田仙水の販路拡充）	-	公共施設等での販売検討	・市役所（上下水道局窓口、庁内コンビニエンスストア）で販売 ・需要が少なく啓発効果が期待できないため、販売中止を決定（H27年度中止）
	水道文化の継承（鳥川湧水群など自然や住民の環境保護活動PR）	-	額田仙水販売、局主催イベントによる啓発実施	・額田仙水販売による鳥川湧水群のPR（H27年度中止） ・水道水源バスツアー等で水源保全について啓発

目標4 経営基盤の強化

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
			指標の目標値	指標の実績値
健全財政の維持	独立採算の原則の維持	営業収支比率（％）	財政収支計画の見直し完了	・財政収支計画の見直し ・財政収支計画に基づく健全な財政運営により、目標値を達成（指標）
		料金回収率（％）		
	水道施設更新事業の財源の適正管理	給水収益に対する企業債残高の割合（％）	建設改良積立金の計画的な積立て、取崩し	・H29年度末に28億円の建設改良積立金を確保 ・男川浄水場更新事業費に係る起債元利償還金の一部について一般会計からの出資を確保
			300%未満	
工事における適正価格と品質の追求	-	工事計画ごとに検討	・価格のほか企業の技術力、社会活動などを総合的に判断し落札者を決定する総合評価方式を採用し、工事の品質を確保 ・局職員及び工事業者を対象とした技術講習会を開催（年5回）	
上水道と簡易水道の経営統合	-	簡易水道の企業会計化の方法検討	計画どおり固定資産台帳を作成	

目標4 経営基盤の強化

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
経営改革の推進	継続的な組織等の見直し（人員配置、組織の見直し）	-	組織統合検証会議及び局内幹部会議において検討	・平日夜間の電話受付業務の実施体制の見直しについて検討 ・効率的な組織運営に関する諸問題について随時検討
	継続的な組織等の見直し（上下水道統合に向けた検討）	-	- （H25年度に完了）	（H26年4月1日に上下水道局を設置）
	六供浄水場の配水場化	-	- （H23年度に完了）	（旧六供浄水場はH23年度末の配水場化をもって無人化を完了）
	男川浄水場更新における民間ノウハウの活用	-	・更新工事の施工管理（業務委託） ・男川浄水場の完成	・アドバイザーが定例会議に出席することで問題点等の早期解消が図られた ・男川浄水場の完成
	上下水道局職員の能力向上	-	人材育成や技術の継承を目的とした水道専門研修会の継続	・水道管修繕に係る職員を対象とした技術講習会の実施（年12回） ・テクニカルエキスパートによるOJTの実施、技術職員（電気・機械・水質）による浄水処理研修会の実施
	さらなる合理化に向けた検討（外部委託化）	-	（H27～29年度は計画なし）	
	さらなる合理化に向けた検討（資産の有効活用）	-	施設跡地の売却検討	休止施設となっている用地の売却に向け関係部局と調整を行うとともに、施設の撤去工事及び売却のための手続きを実施

目標5 環境・エネルギー対策の強化

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
環境・エネルギー対策の強化	地球温暖化対策の推進	-	・省エネ設備の採用 ・男川浄水場更新工事 ・男川浄水場での電気使用量管理	・ポンプ設備の省エネ化（3施設） ・男川浄水場での電力使用量減少（H29年度年間配水量当たり（kwh/m ³ ）前年度比△4.7%）。

目標5 環境・エネルギー対策の強化

施策項目	施策内容	H27～29年度の計画と取組み		
		指標	計画の概要	主な取組内容
			指標の目標値	指標の実績値
環境・エネルギー対策の強化	浄水発生土等の有効利用（発生土）	浄水発生土等の有効利用率（％）	発生土の有効利用	・男川浄水場の浄水発生土（H27年度226t）を全量売却 ・仁木浄水場の浄水発生土（H27年度133t）を全量売却 （発生土の有効利用が100%可能となったため、H27年度完了）
			100.0%	100.0%
	浄水発生土等の有効利用（建設副産物）	建設副産物のリサイクル率（％）	土砂・アスファルト等のリサイクル	工事発注時に土砂、アスファルト等のリサイクルを実施
			99.8%	99.8%
	市民参加型の環境マネジメントシステムの活用	-	地球温暖化対策実行計画に掲げる取組み実施	紙、ガソリン、電気等エネルギー使用量削減の実践
	環境会計の導入に向けた検討	-	- （H25年度に完了）	（導入をしないことを決定）

3 まとめ

水道ビジョンに掲げた各施策について、平成27年度から29年度までの取組状況を総括すると、各施策項目において水道ビジョンの目標を実現するための取組みが、概ね計画どおり進んでいると考えています。

水道ビジョンに掲げた施策の取組状況については、毎年度上下水道局の内部で評価・検証を行い、次年度以降の計画策定や取組みの検討に役立てていますが、今後も定期的に取り組状況を公表し、水道事業の透明性の確保に努めてまいります。